



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 全徳
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)和田 輝久 TEL (06)6223-9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	131,286	△12.1	3,123	△68.3	5,226	△54.7	3,278	△50.1
25年3月期第2四半期	149,308	△8.9	9,854	△45.5	11,543	△37.8	6,568	△46.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 12,863百万円(124.5%) 25年3月期第2四半期 5,729百万円(△50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	16.15	—
25年3月期第2四半期	32.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	377,744	232,057	60.0	1,116.11
25年3月期	352,373	220,248	61.1	1,059.85

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 226,555百万円 25年3月期 215,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	5.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	11.3	14,000	39.5	17,000	23.0	11,000	30.9	54.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	204,000,000株	25年3月期	204,000,000株
26年3月期2Q	1,014,222株	25年3月期	1,010,242株
26年3月期2Q	202,987,738株	25年3月期2Q	202,997,623株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料はTDnetにて平成25年11月8日（金）に開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10
（参考情報）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカや欧州債務国の財政問題の影響など海外景気の下振れ懸念があるものの、異次元の金融緩和などの経済・金融政策を契機とした円安を受けて、輸出環境の改善や生産の緩やかな増加がみられ、また株高により個人消費が復調するなど、景気が持ち直しつつあるなかで推移しました。

化学工業界におきましては、中国経済に底打ちの兆しが出ているものの、緊迫する中東情勢などを受けた原油高を背景とした原料価格の高止まりなど、予断を許さない状況が続きました。

平成24年9月29日、当社姫路製造所において爆発・火災事故が発生しました。このため、関係ご当局からの危険物製造所等一時使用停止命令により、姫路製造所および隣接する関係会社の全プラントが停止いたしました。同年11月1日以後、解除する旨の通知を数次にわたって頂いております。

それにより、同年11月に自動車触媒を含む触媒関連および塗料用樹脂、同年12月に電子情報材料および樹脂改質剤、平成25年1月に無水マレイン酸およびコンクリート混和剤用ポリマーの生産を再開致しました。また、当期に入り、平成25年6月にアクリル酸と高吸水性樹脂の生産を再開、さらに、第2四半期に入りました同年7月に特殊エステルおよび洗剤原料用の水溶性ポリマー、同年8月にアクリル酸エステルの生産を順次再開しております。

しかしながら、アクリル酸の一部のプラントは、当第2四半期末時点においても操業を停止しております。

①全体の状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	149,308	131,286	△18,023	△12.1%	269,520
営業利益	9,854	3,123	△6,732	△68.3%	10,034
経常利益	11,543	5,226	△6,317	△54.7%	13,824
四半期(当期)純利益	6,568	3,278	△3,290	△50.1%	8,401
1株当たり四半期(当期)純利益	32.35円	16.15円	△16.20円	△50.1%	41.38円
ROA(総資産経常利益率)	6.5%	2.9%	—	△3.6ポイント	3.9%
ROE(自己資本当期純利益率)	6.4%	3.0%	—	△3.4ポイント	4.0%
為替(\$、EUR)	\$=¥79.41 EUR=¥100.56	\$=¥98.86 EUR=¥129.97		¥19.45 ¥29.41	\$=¥83.09 EUR=¥107.06
ナフサ価格	55,200円/kl	64,700円/kl		9,500円/kl	57,500円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、上述の姫路製造所事故の影響などにより販売数量が大幅に減少し、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)に比べて180億2千3百万円減収(△12.1%)の1,312億8千6百万円となりました。

利益面につきましても、姫路製造所事故の影響などにより、営業利益は前年同四半期に比べて67億3千2百万円減益(△68.3%)の31億2千3百万円となりました。

経常利益は、技術料収入や受取配当金が減少したものの、円安が進んだことにより為替差損益が改善したことなどにより営業外損益は4億1千4百万円の増益となり、前年同四半期に比べて63億1千7百万円減益(△54.7%)の52億2千6百万円となりました。また、事故に関連する保険金の受領により38億5千1百万円の特別利益、ならびに事故により休止している設備が負担する固定費を休止固定費として振替えることなどにより44億7千4百万円の特別損失を計上しております。

四半期純利益は、前年同四半期に比べて32億9千万円減益(△50.1%)の32億7千8百万円となりました。

②セグメント別の概況

[基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したものの、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

酸化エチレンは、販売数量は減少したものの、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したことによ

り、増収となりました。

エチレングリコールおよび高級アルコールは、販売数量が増加したことに加え、円安が進んだことや原料価格の上昇に伴い販売価格も上昇したため、増収となりました。

エタノールアミンは、原料価格高に伴い販売価格を修正したものの、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて7.7%減少の581億1千8百万円となりました。

営業利益は、事故の影響により販売数量が大幅に減少したことに加え、原料価格の上昇に製品価格の上昇が追いついていないこと、および生産量の減少に対し商品購入で対応したことによるスプレッド縮小などによって収益性が悪化した結果、前年同四半期に比べて41億6千万円減少の△3億2千1百万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂、洗剤原料などの水溶性ポリマー、コンクリート混和剤用ポリマーおよび特殊エステルは、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

樹脂改質剤、塗料用樹脂および粘着加工品は、販売数量が減少したため、減収となりました。

エチレンイミン誘導品は、販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したため、減収となりました。

電子情報材料およびよう素化合物は、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、販売数量が減少したものの、価格修正などにより増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて20.6%減少の613億5千5百万円となりました。

営業利益は、加工費の低減などに努め、円安の影響や原料価格の上昇に伴う販売価格修正によりスプレッドは前年同四半期並みを確保したものの、販売数量が減少した影響が大きく、前年同四半期に比べて56.3%減少の25億1千4百万円となりました。

[環境・触媒事業]

プロセス触媒、湿式酸化触媒、燃料電池材料、脱硝触媒およびリチウム電池用ポリマーは、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

自動車触媒は、数量はほぼ横ばいでしたが、貴金属価格の上昇に伴い販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

ダイオキシン類分解触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期に比べて30.9%増加の118億1千3百万円となりました。

営業利益は、在庫評価損が増加したものの、販売数量の増加などにより、前年同四半期に比べて318.5%増加の8億7千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて253億7千1百万円増加の3,777億4千4百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて127億2千3百万円増加しました。たな卸資産、受取手形及び売掛金の増加などによるものです。なお、平成24年9月29日に当社姫路製造所において発生しました爆発・火災事故により罹災した資産の修繕費等について、保険金が受領できる見込みであるため、当第2四半期連結累計期間において新たに8億3千7百万円を火災未決算として流動資産の「その他」に計上しました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて126億4千8百万円増加しました。設備投資による有形固定資産の増加や、時価の上昇による投資有価証券の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて135億6千2百万円増加の1,456億8千7百万円となりました。長期借入金、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて118億9百万円増加の2,320億5千7百万円となりました。為替換算調整勘定、利益剰余金、並びにその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の61.1%から60.0%へと1.1ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて56.26円増加の1,116.11円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出、及び設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出が、借入れ等の財務活動によるキャッシュ・フローの収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べて43億8千1百万円減少の434億1千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の226億2千3百万円の収入に対し、当第2四半期連結累計期間は3億9百万円の支出となりました。当社姫路製造所の製造設備が順次再稼働したことに伴って運転資金が増加し、更に、税金等調整前四半期純利益が減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の171億9千8百万円の支出に対し、当第2四半期連結累計期間は129億9千6百万円の支出となりました。前第2四半期連結累計期間に比べて有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の27億2千9百万円の収入に対し、当第2四半期連結累計期間は74億4千6百万円の収入となりました。当第2四半期連結累計期間は社債の償還による支出がなかったこと、及び前第2四半期連結累計期間に比べて配当金の支払額が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

姫路製造所でのアクリル酸プラントの再稼働が当初の見込みよりも遅れたことの影響や、一部国内子会社での損益悪化などにより上期の業績が前回(平成25年5月8日発表)予想を下回ったため、当社グループの通期の業績は、売上高3,000億円(下期1,687億円)、営業利益140億円(下期109億円)、経常利益170億円(下期118億円)、当期純利益110億円(下期77億円)を見込み、前回予想を修正しております。なお、前回予想値は、売上高3,000億円、営業利益150億円、経常利益180億円、当期純利益120億円でした。

下期の連結業績につきましては、為替レートを95円/米ドル、125円/ユーロとし、ナフサ価格を65,000円/キロリットルの前提としております。

姫路製造所は一部のアクリル酸プラントを除いてほぼ復旧していることもあり、上期に比べて下期は事故の影響もかなり軽減されるものと予想しております。厳しい事業環境下ではありますが、『安全が生産に優先する』の社是の下、安全には十分留意した上で、生産・販売数量の拡大に注力しつつ、スプレッドの維持・拡大等にも努めて参ります。

なお、セグメント別の通期業績予想は以下の通りであります。

・平成26年3月期 事業セグメント別業績予想値

(単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
上期実績	581	△3	614	25	118	9
下期予想	679	23	886	70	122	16
通期予想(今回)	1,260	20	1,500	95	240	25
同 上(前回)	1,250	45	1,500	95	250	10

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,847	46,336
受取手形及び売掛金	52,579	57,238
商品及び製品	21,468	28,056
仕掛品	7,170	7,380
原材料及び貯蔵品	13,571	14,231
その他	14,466	18,557
貸倒引当金	△49	△24
流動資産合計	159,051	171,774
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	52,031	50,274
土地	32,396	32,404
その他(純額)	58,300	69,406
減損損失累計額	△4,225	△4,496
有形固定資産合計	138,502	147,588
無形固定資産		
その他	2,227	2,219
無形固定資産合計	2,227	2,219
投資その他の資産		
投資有価証券	37,252	41,316
その他	15,452	14,961
貸倒引当金	△111	△113
投資その他の資産合計	52,593	56,164
固定資産合計	193,322	205,970
資産合計	352,373	377,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,415	42,571
短期借入金	14,533	13,821
1年内返済予定の長期借入金	14,080	17,747
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	751	1,150
賞与引当金	2,597	2,638
その他の引当金	2,749	3,074
その他	10,084	9,448
流動負債合計	84,208	100,450
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	26,060	33,237
退職給付引当金	10,418	10,549
その他	1,439	1,451
固定負債合計	47,917	45,237
負債合計	132,125	145,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,083	22,083
利益剰余金	172,376	174,639
自己株式	△897	△902
株主資本合計	218,599	220,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,846	4,911
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△6,309	785
その他の包括利益累計額合計	△3,462	5,697
少数株主持分	5,111	5,502
純資産合計	220,248	232,057
負債純資産合計	352,373	377,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	149,308	131,286
売上原価	120,562	111,600
売上総利益	28,746	19,686
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	5,975	4,727
人件費	3,983	3,848
研究開発費	5,694	5,157
その他	3,239	2,831
販売費及び一般管理費合計	18,892	16,564
営業利益	9,854	3,123
営業外収益		
受取利息	40	53
受取配当金	551	430
持分法による投資利益	659	630
受取技術料	1,095	197
不動産賃貸料	567	546
為替差益	—	810
その他	255	263
営業外収益合計	3,168	2,929
営業外費用		
支払利息	344	263
為替差損	670	—
減価償却費	154	185
その他	311	377
営業外費用合計	1,479	825
経常利益	11,543	5,226
特別利益		
受取保険金	—	3,851
特別利益合計	—	3,851
特別損失		
爆発火災事故に係る損失	—	4,424
関係会社出資金評価損	—	50
投資有価証券評価損	355	—
関係会社株式評価損	264	—
減損損失	89	—
特別損失合計	707	4,474
税金等調整前四半期純利益	10,836	4,603
法人税、住民税及び事業税	3,936	1,214
法人税等調整額	246	△5
法人税等合計	4,182	1,209
少数株主損益調整前四半期純利益	6,655	3,394
少数株主利益	87	116
四半期純利益	6,568	3,278

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,655	3,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,096	2,061
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	930	6,557
持分法適用会社に対する持分相当額	241	850
その他の包括利益合計	△926	9,469
四半期包括利益	5,729	12,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,604	12,437
少数株主に係る四半期包括利益	124	426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,836	4,603
減価償却費	7,346	7,939
関係会社出資金評価損	—	50
投資有価証券評価損益(△は益)	355	—
関係会社株式評価損	264	—
減損損失	89	—
受取保険金	—	△3,851
受取利息及び受取配当金	△591	△484
支払利息	344	263
持分法による投資損益(△は益)	△659	△630
売上債権の増減額(△は増加)	14,490	△3,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	79	△6,090
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,744	2,511
その他	△1,368	△6,039
小計	28,440	△5,667
利息及び配当金の受取額	2,268	1,397
利息の支払額	△340	△270
保険金の受取額	—	3,851
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,745	380
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,623	△309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,214	△12,200
投資有価証券の売却による収入	—	93
貸付けによる支出	△1,190	—
その他	△795	△889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,198	△12,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△570	△217
長期借入れによる収入	12,138	9,508
長期借入金の返済による支出	△1,537	△772
社債の償還による支出	△5,000	—
配当金の支払額	△2,233	△1,015
少数株主への配当金の支払額	△44	△31
自己株式の売却による収入	—	3
自己株式の取得による支出	△3	△7
その他	△23	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,729	7,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	189	1,478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,343	△4,381
現金及び現金同等物の期首残高	50,812	47,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,155	43,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	62,969	77,313	9,027	149,308	—	149,308
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,843	871	805	19,519	△19,519	—
計	80,812	78,184	9,831	168,828	△19,519	149,308
セグメント利益	3,839	5,760	209	9,808	46	9,854

(注) 1 セグメント利益の調整額 46百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒		
減損損失	—	—	—	89	89

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,118	61,355	11,813	131,286	—	131,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,996	1,057	582	11,636	△11,636	—
計	68,115	62,412	12,395	142,921	△11,636	131,286
セグメント利益又は損失(△)	△321	2,514	876	3,070	53	3,123

(注) 1 セグメント利益の調整額 53百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	28,906	17,504	10,458	8,821	65,688
連結売上高(百万円)					149,308
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.4	11.7	7.0	5.9	44.0

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	26,116	15,155	13,196	4,963	59,430
連結売上高(百万円)					131,286
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.9	11.5	10.1	3.8	45.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
 (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
 (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
 (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。